

令和4年度

事業計画書



社会福祉法人二宮町社会福祉協議会

社会福祉法人二宮町社会福祉協議会
令和4年度事業計画

【基本理念】

『ささえあい、誰もがいきいきと豊かに暮らせる町をめざして』

【基本方針】

令和3年度は、令和2年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響によって、各種事業が計画通りに実施できず中止、縮小となり、人の集まりや人のふれあう機会が減少する一方、生活福祉資金等の貸付の増加や、おさがり広場の開催、子ども食堂の活動支援など新たな生活支援に取り組みました。

令和4年度は、第2次地域福祉活動計画の最終年度にあたることから、ウィズコロナの下、感染状況に留意しながら事業を推進し、計画の進捗状況を総括するとともに、第3次地域福祉活動計画の策定を、町が策定する次期地域福祉計画と歩調を合わせて進めていきます。

個別施策では、地域福祉を推進するうえで欠かせない地区社協部会の活動を支援し、地域コミュニティの維持拡充を図ります。また、地域住民の交流や介護予防を行う町内18か所の「地域の通いの場」の更なる充実に向けた支援を、町と連携して継続して実施します。

災害対応としては、各地で大規模災害が発生し、災害への備えが身近なテーマとなる中、災害ボランティアセンターの設営をはじめとする初期の支援だけではなく、中長期的な被災者支援の中で、町社協がどうした役割を果たすべきかを引き続き再検証します。

生活課題に関する相談については、「心配ごと相談」をはじめ、地域包括支援センター、ホームヘルプステーション、カンナカンナの各拠点での専門的な相談を継続するとともに、生活困窮や日常生活自立支援についても強化していきます。

成年後見制度については、増加する身寄りのいない高齢者や認知症高齢者、また障がい者への虐待防止など権利擁護のため、制度の周知を図るとともに、町社協が法人後見事業を立ち上げます。

以上、重点目標として地域住民や地域の多様な主体が「我が事」として参画し、人と人、人と資源が世代や分野を超えてつながる社会づくりに向け、地域の皆さまや関係団体と連携しながら社協事業を進めてまいります。

【重点目標】

1. 地区社協活動や「地域の通いの場」の充実支援
2. 災害時における被災者支援のあり方の検証（継続事業）
3. 相談支援体制の強化
4. 法人後見事業の立ち上げ

二宮町社会福祉協議会 令和4年度事業計画書

事業区分		サービス区分(A)の内容		予算増減記載欄													
I. 社会福祉事業		民主的な社協運営のため事業の運営を行う		科目	増減の理由												
拠点区分				〈事業活動収入〉													
1. 法人運営事業																	
サービス区分 (A)		4年度予算【事業活動支出計(2)】	前年度比較増減														
(1) 法人運営事業		30,333千円	314千円	〈事業活動支出〉													
サービス区分 (B)		〃 【 〃 】 ※予算書はサ区(A)まで	前年度比較増減														
①役員会		1,061千円	0千円														
第2次地域福祉活動計画(H29～34)への位置づけ		5-(1)-1 役員会の組織運営体制の強化															
計画の進捗評価と課題 (令和2年度事業報告及び令和3年度事業進捗状況より)		<p>【達成事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・役員の構成を見直したほか、評議員選任・解任委員会を設置するなど、ガバナンスの強化を図った。 ・役員研修を実施することで、社協事業への理解がより一層深まり、運営体制の強化につながった。 <p>【未達成事項】</p> <p>—</p>															
令和4年度目標 (計画・評価・課題を含め)		引き続き、社会福祉法の趣旨に沿った組織運営体制の構築、強化を進める。															
事業概要				事業計画・スケジュール													
				項目	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
イ 執行機関として理事会を開催する(年5回・監事同席)		理事会開催				▼	▼	▼				▼					▼
ロ 事業の能率的かつ活動的な推進と運営を図るため、理事部会を開催する																	
○ 財務部会(年1回)		部会開催															▼
・各事業の財務内容について確認する						▼											
○ 企画運営部会(年2回)		部会開催			▼												▼
・第2次地域福祉活動計画の評価を実施する		決算事業報告に併せ評価の実施 →決算理事会・評議員会に報告			▼												▼
○ 広報部会(年6回)		部会開催		▼	▼		▼	▼				▼	▼				
・読んでもらえる広報紙の発行について検討を行う。		掲載内容等の検討		▼	発行		▼	発行				▼	発行				
ハ 社協業務及び会計経理の適正な執行のため、監査を実施する(年1回)		監事会開催			▼												
ニ 監事(税理士)による指導		月次報告、会計指導、財務体質改善の検討		▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼
ホ 役員研修会を開催する		研修会開催(法人後見制度について研修会を実施)											▼				
ヘ 県社協等主催研修会を積極的に活用する		研修会情報の収集と提供		←													→

二宮町社会福祉協議会 令和4年度事業計画書

事業区分		サービス区分(A)の内容		予算増減記載欄														
I. 社会福祉事業				科目		増減の理由												
拠点区分		民主的な社協運営のため事業を行う		〈事業活動収入〉														
1. 法人運営事業				県社協補助金収入 (減)		法人後見立上支援補助金終了のため												
サービス区分 (A)		4年度予算【事業活動支出計(2)】	前年度比較増減															
(1) 法人運営事業		30,333千円	314千円															
サービス区分 (B)		〃 【 〃 】 ※予算書はサ区(A)まで	前年度比較増減	〈事業活動支出〉														
③事務局運営事業		29,030千円	2,441千円	消耗器具備品費支出 (減)		法人後見立上関係費用減のため												
第2次地域福祉活動計画 (H29～34)への位置づけ	2-(3)-1	災害時行動マニュアルの整備		諸謝金支出 (減)		法人後見立上関係費用減のため												
	5-(1)-2	<ul style="list-style-type: none"> 職員の育成及び勤務環境等の整備 PDCAサイクルによる事業の見直し 町社協の役割やサービスの「見える化」 		人件費 (増)		日常生活自立支援事業担当職員増のため												
計画の進捗評価と課題 (令和2年度事業報告及び令和3年度事業進捗状況より)		<p>【達成事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> 災害対策マニュアルの作成・整備を行った。 諸規定の整備・改廃を行い、組織体制を整えた。 「地域の通いの場」に配架した、生活支援サービスファイル（地域資源をまとめたもの）に社協サービス情報を掲載し、周知を図った。 <p>【未達成事項】</p> <p>—</p>																
令和4年度目標 (計画・評価・課題を含め)		<ul style="list-style-type: none"> 総合相談機能の強化に向けた職員研修に取り組む。 災害対策マニュアルの浸透を図り、災害に強い社協づくりを進める。(継続) 法人後見事業立上の取り組みを実施する。 第3次地域福祉活動計画を策定する。 																
事業概要				事業計画・スケジュール														
				項目	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
イ	社協が行う各種事業の管理運営およびそれに従事する職員の労務人事管理を行う			臨時職員雇用契約	▼						▼							
				算定基礎届 (社会保険、雇用保険)			▼											
				年末調整、給与支払報告書									▼	▼				
ロ	事務所の施設管理を行う			施設修繕、維持管理、支払等	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼		
ハ	第3次地域福祉活動計画の策定			地域福祉活動計画策定	←											▼		
ニ	職員研修の充実			県社協からの研修年間計画 ⇒職員への周知・斡旋 (随時)	←											→		
				事務局及び包括職員の情報連携の強化 (合同勉強会開催等)	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼		
ホ	総合相談機能の強化に向けた取り組みの実施			事務局及び包括職員による出前講座の実施 (通いの場)	←											→		

	横断的情報交換会の定期開催 町(高齢福祉班)・事務局・地域包括・ SC・認知症地域支援推進員	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼
へ 社協会員会費募集を行う	チラシ作成等募集備品の発注			▼										
○地区社協部会をとおして町民への加入依頼	地区の実情に合わせ募集を実施			←————→										
ト 赤い羽根共同募金・年末たすけあい募金活動を実施する	地区社協部会長へチラシ配布を周知				▼								▼	
	チラシ全戸配布				8/25									3/25
	地区社協部会長・法人・学校等へ依頼 及び募金箱設置				▼	←	共募	→	送金	▼	←	年末	送金	▼
チ その他事業														
○定款・規程集の更新	定款、規程集の年度内変更取りまとめ 及び更新・配布												←	▼
○福祉団体への事務支援	関係機関との連絡調整、行事の手伝 い、定例会の参加等	←												→
	活動内容の検証や会員確保の方策検討 の奨励	←												→
○行路人へ旅費支給、車椅子の貸出し	車椅子の管理、修繕と廃棄	←												→
リ 災害時行動マニュアルに基づく行動シミュレーション（昨年度から持越）	災害備蓄品の購入				←	→								
	拠点ごとに会議室等での机上シミュ レーション											▼		
	マニュアルの見直し												←	→
	大規模災害後の中長期的な被災者支援 のあり方検証				←									→
ヌ 法人後見事業立上のための取り組みを実施	検討委員会の実施		▼			▼								
	事業立ち上げ						▼							

二宮町社会福祉協議会 令和4年度事業計画書

事業区分		サービス区分(A)の内容		予算増減記載欄												
I. 社会福祉事業		民主的な社協運営のため事業の運営を行う		科目				増減の理由								
拠点区分				〈事業活動収入〉												
1. 法人運営事業																
サービス区分 (A)		4年度予算【事業活動支出計(2)】	前年度比較増減													
(1) 法人運営事業		30,333 千円	314 千円	〈事業活動支出〉												
サービス区分 (B)		〃 【 〃 】※予算書はサ区(A)まで	前年度比較増減													
⑥災害見舞金事業		50 千円	0 千円													
第2次地域福祉活動計画(H29~34)への位置づけ		2-(3)-1 災害見舞金の迅速な支給														
計画の進捗評価と課題 (令和2年度事業報告及び令和3年度事業進捗状況より)		【達成事項】 ・二宮町災害弔慰金の支給等に関する条例（昭和50年3月20日条例第2号）による災害弔慰金等の支給対象者との整合を図った。 【未達成事項】 -														
令和4年度目標 (計画・評価・課題を含め)		町及びさざなみ奉仕会と連携し、見舞金の適切かつ迅速な支給を行う。														
事業概要				事業計画・スケジュール												
				項目	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
イ 火災等の災害にあった家庭に対してお見舞金を贈る				見舞金支出（随時）	←											→
				県共同募金会への申請												▼

二宮町社会福祉協議会 令和4年度事業計画書

事業区分		サービス区分(A)の内容		予算増減記載欄															
I. 社会福祉事業		「社協にのみや」の紙面レイアウトの改良及び素早い情報発信のためホームページの活用を行う		科目			増減の理由												
拠点区分				〈事業活動収入〉															
1. 法人運営事業																			
サービス区分 (A)		4年度予算【事業活動支出計(2)】		前年度比較増減															
(2) 広報事業		1,236千円		△160千円		〈事業活動支出〉													
サービス区分 (B)		〃 【 〃 】 ※予算書はサ区(A)まで		前年度比較増減															
① 広報紙発行事業		1,126千円		0千円															
第2次地域福祉活動計画(H29～34)への位置づけ		4-(2)-1 効果的な活動の周知および情報提供のため、わかりやすく、読みやすい広報紙の作成																	
計画の進捗評価と課題 (令和2年度事業報告及び令和3年度事業進捗状況より)		【達成事項】 ・関係団体の情報等を掲載し、町内の福祉の情報発信に努めた。 【未達成事項】 ・読者ニーズの把握が課題となっている。																	
令和4年度目標 (計画・評価・課題を含め)		・見やすい紙面、読まれる内容の広報紙づくりを目指し、掲載内容や記事配置の検討を行う。また、読者からの意見集約を行う。																	
事業概要				事業計画・スケジュール															
				項目	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3			
イ 広報紙「社協にのみや」を発行する(1・4・5・8ページはカラー)		広報紙発行			▼			▼					▼						
ロ 会員募集と会費納入のお願いチラシを発行する		会員募集チラシ発行				▼													
ハ 赤い羽根共同募金・年末たすけあい募金報告チラシを発行する		報告チラシ発行														▼			
ニ 見やすい紙面をめざし紙面様式と掲載内容の検討を行う		広報部会で検討		▼	▼		▼	▼				▼	▼						
		(他市町村の広報紙との比較も)																	
ホ より良い記事作成のために読者からの意見の集約を行う		読者の意見集約		←										▼					
ヘ 町内掲示板へのふくを掲示する		へのふくの掲示		▼		▼		▼		▼		▼		▼					

二宮町社会福祉協議会 令和4年度事業計画書

事業区分		サービス区分(A)の内容		予算増減記載欄														
I. 社会福祉事業		「社協にのみや」の紙面レイアウトの改良及び素早い情報発信のためホームページの活用を行う		科目			増減の理由											
拠点区分				〈事業活動収入〉														
1. 法人運営事業																		
サービス区分 (A)		4年度予算【事業活動支出計(2)】		前年度比較増減														
(2) 広報事業		1,236千円		△ 160千円		〈事業活動支出〉												
サービス区分 (B)		〃 【 〃 】 ※予算書はサ区(A)まで		前年度比較増減		器具及び備品取得支出(減)			昨年度SNS更新用携帯端末を購入しているため									
②ホームページ事業		110千円		△ 160千円														
第2次地域福祉活動計画(H29～34)への位置づけ		4-(2)-1 効果的な活動の周知および情報提供のため、閲覧しやすい・欲しい情報にアクセスしやすいホームページづくり																
計画の進捗評価と課題 (令和2年度事業報告及び令和3年度事業進捗状況より)		<p>【達成事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> 社協ホームページのリニューアルを実施し、見やすく、必要な情報の取得が容易にできるようレイアウトやリンクの設定を行った。 以前のホームページに掲載していた内容に加え、新規ページとして、地域の福祉の情報を掲載する「にのみやほっとニュース」を作成 SNSの活用として昨年から活用していたFacebookに加え、Instagramも運用し、タイムリーな情報発信に務めた。 <p>【未達成事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ニーズの把握が課題となっている。 																
令和4年度目標 (計画・評価・課題を含め)		<ul style="list-style-type: none"> ホームページやSNSを活用しタイムリーな情報発信を行う。 既存コンテンツの見直し・補強を行い、必要に応じて新規コンテンツを整えるなど柔軟に対応する。 																
事業概要				事業計画・スケジュール														
				項目			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
イ	ホームページによる情報の発信を行う			ホームページの更新(随時)			←											→
ロ	ホームページの記載内容の見直し、そのための情報収集を行う			内容の見直しと情報収集(随時)			←											→
ハ	関係団体へのホームページの記事募集と閲覧、登録の周知			関係団体への働きかけを実施(随時)			▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼
ニ	既存コンテンツの補強を行う(事業及びボランティア写真等)			既存コンテンツの補強			←											→
ホ	SNSの運用			タイムリーな情報発信			←											→
ヘ	インターネット環境のセキュリティー強化			職員の意識向上・環境強化			←									→	▼	

二宮町社会福祉協議会 令和4年度事業計画書

事業区分		サービス区分(A)の内容		予算増減記載欄														
I. 社会福祉事業				科目				増減の理由										
拠点区分		福祉の祭典として、関係団体・ボランティア協力のもと、ラディアンにおいて10月8日(土)に開催する		〈事業活動収入〉														
1. 法人運営事業				会費収入(減)				令和3年度からの繰越金で事業運営のため										
サービス区分(A)		4年度予算【事業活動支出計(2)】		前年度比較増減		前期末支払資金残高(増)				令和3年度からの繰越金で事業運営のため								
(3) 社会福祉大会事業		806千円		△38千円		〈事業活動支出〉												
サービス区分(B)		〃【〃】※予算書はサ区(A)まで		前年度比較増減														
①福祉のつどい事業		650千円		0千円														
第2次地域福祉活動計画(H29~34)への位置づけ		1-(1)-1 ・福祉団体の主体的な参画と連携の促進 ・福祉を身近に感じてもらえる企画の実施																
計画の進捗評価と課題 (令和2年度事業報告及び令和3年度事業進捗状況より)		【達成事項】 ・新柄コロナウイルス感染症感染拡大の防止のため中止 【未達成事項】 -																
令和4年度目標 (計画・評価・課題を含め)		・楽しく福祉に触れられる催しを検討、実施する。 ・ユース世代の参画を行う。 ・福祉講演会を実施する。																
事業概要				事業計画・スケジュール														
				項目			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
イ		実施方法の検討・決定(通常又はコロナ対応)		実施方法の検討・決定				← 検討 →		▼								
ロ		社会福祉関係団体の活動発表やバザー・模擬店を実施する 開催に伴う各種申請(町-後援名義、消防-露店開設、保健所-食品提供)		ふれあい福祉のつどい実施				← マニュアル更新 →				8日	▼					
ハ		福祉講演会を実施する		各種申請				← 町 保健所 消防 →				8日	▼					
ニ		楽しく福祉に触れられる催しの検討		体験型の催し物などの検討				← →										▼
ホ		参加団体を委員とする実行委員会を開催する(年2回)		実行委員会の開催				← ルール等更新 →		▼		▼						
ヘ		参加団体募集を行う		参加団体の募集				← 締切 →										
ト		イベント会場マップの作成を行う		マップの作成				← →										
チ		参加団体紹介冊子の作成を行う		冊子の作成				← 依頼 →		締切	▼							
リ		開催後に反省点の抽出を行う		・職員、参加団体アンケート ・ボランティア情報交換会				← →					▼					
ヌ		効果的な運営のために県社協、他市町村の福祉大会実施内容の情報収集を行う		他市町村実施内容の情報収集				← →										▼

ル ユース世代の参画に向けた検討・実施	小中高生の参画の検討・実施	←				→	▼						
ヲ 社会福祉関係団体の活動の発表方法の検討（コロナ対応）	団体の活動発表の検討	←				→	▼						
ワ 福祉講演会を実施するかどうかの検討・決定	団体の活動発表の検討	←				→	▼						

二宮町社会福祉協議会 令和4年度事業計画書

事業区分		サービス区分(A)の内容		予算増減記載欄																			
I. 社会福祉事業				科目			増減の理由																
拠点区分		福祉の祭典として、関係団体・ボランティア協力のもと、ラディアンにおいて10月8日(土)に開催する		〈事業活動収入〉																			
1. 法人運営事業																							
サービス区分(A)		4年度予算【事業活動支出計(2)】		前年度比較増減																			
(3) 社会福祉大会事業		806千円		△38千円		〈事業活動支出〉																	
サービス区分(B)		〃【〃】※予算書はサ区(A)まで		前年度比較増減		消耗器具备品費支出(減)			表彰対象想定人数減のため														
②顕彰表彰事業		156千円		△38千円																			
第2次地域福祉活動計画(H29~34)への位置づけ		1-(1)-1 対象者の積極的な掘り起し																					
計画の進捗評価と課題(令和2年度事業報告及び令和3年度事業進捗状況より)		【達成事項】 ・令和2年度は新型コロナウイルス感染症感染拡大の防止のため中止 ・令和3年度は個人宅や会の会合の場で表彰実施 【未達成事項】 -																					
令和4年度目標(計画・評価・課題を含め)		・地域の個人ボランティアの活動等、団体役員以外の対象者の掘り起しを行う。																					
事業概要				事業計画・スケジュール																			
				項目	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3							
イ 社会福祉関係功労者表彰を行う				社会福祉大会で表彰									▼										
ロ 社会福祉関係功労者表彰選考委員会を開催する(年1回)				選考委員会の開催									▼										
ハ 対象者の掘り起し				団体への働きかけ、個人ボランティアの掘り起し					←														
ニ 社会福祉関係功労者表彰の実施方法の検討・決定				表彰の実施方法の検討・決定																			

二宮町社会福祉協議会 令和4年度事業計画書

事業区分	サービス区分(A)の内容		予算増減記載欄													
I. 社会福祉事業	福祉団体への活動費の助成を行う		科目	増減の理由												
拠点区分			〈事業活動収入〉													
1. 法人運営事業																
サービス区分 (A)	4年度予算【事業活動支出計(2)】	前年度比較増減														
(4) 助成事業	40千円	0千円	〈事業活動支出〉													
サービス区分 (B)	〃 【 〃 】 ※予算書はサ区(A)まで		前年度比較増減													
①更生保護女性会助成事業	20千円	0千円														
第2次地域福祉活動計画(H29～34)への位置づけ	1-(1)-2 犯罪や非行のない地域づくりに取り組む団体・活動の支援															
計画の進捗評価と課題 (令和2年度事業報告及び令和3年度事業進捗状況より)	【達成事項】 ・団体へ活動費を助成して団体活動の円滑化を図った。 【未達成事項】 —															
令和4年度目標 (計画・評価・課題を含め)	更生保護女性会の円滑な事業運営に資するよう、適時、助成を行う。															
事業概要			事業計画・スケジュール													
			項目	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
イ 更生保護女性会へ活動費の助成を行う			助成金の申請と送金事務			▼										

二宮町社会福祉協議会 令和4年度事業計画書

事業区分		サービス区分(A)の内容		予算増減記載欄													
I. 社会福祉事業				科目				増減の理由									
拠点区分		福祉団体への活動費の助成を行う		〈事業活動収入〉													
1. 法人運営事業																	
サービス区分 (A)		4年度予算【事業活動支出計(2)】	前年度比較増減														
(4) 助成事業		40千円	0千円	〈事業活動支出〉													
サービス区分 (B)		〃 【 〃 】 ※予算書はサ区(A)まで		前年度比較増減													
②社会を明るくする運動助成事業		20千円	0千円														
第2次地域福祉活動計画(H29~34)への位置づけ		1-(1)-2 犯罪や非行のない地域づくりに取り組む団体・活動の支援															
計画の進捗評価と課題(令和2年度事業報告及び令和3年度事業進捗状況より)		【達成事項】 ・犯罪や非行のない地域づくりに取り組む活動を支援し、地域福祉の推進により犯罪予防と更生援助を行うキャンペーンに協力した。 【未達成事項】 -															
令和4年度目標(計画・評価・課題を含め)		社会を明るくする運動の円滑な実施に資するよう、適時、助成を行う。															
事業概要				事業計画・スケジュール													
				項目	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
イ		保護司会が行う社会を明るくする運動への助成を行う		助成金の申請と送金事務						▼							

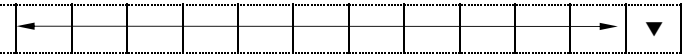
二宮町社会福祉協議会 令和4年度事業計画書

事業区分		サービス区分(A)の内容		予算増減記載欄														
I. 社会福祉事業		家族関係、DV、相続、人権問題など町民の方の心配ごとを解決に導くために相談を受ける		科目			増減の理由											
拠点区分				〈事業活動収入〉														
1. 法人運営事業																		
サービス区分 (A)		4年度予算【事業活動支出計(2)】		前年度比較増減														
(5) 心配ごと相談所事業		154千円		0千円		〈事業活動支出〉												
サービス区分 (B)		〃 【 〃 】 ※予算書はサ区(A)まで		前年度比較増減														
①心配ごと相談所事業		154千円		0千円														
第2次地域福祉活動計画(H29～34)への位置づけ		4-(1)-1 ・身近な相談所として町民に広く周知 ・町が実施する無料法律相談と相互に連携																
計画の進捗評価と課題 (令和2年度事業報告及び令和3年度事業進捗状況より)		【達成事項】 ・身近な相談場所として町民に広く周知するため、広報紙への掲載及び実施日にはInstagramに投稿するなど広報活動を実施した。その結果開催日数が少なかったが相談件数は多かった。 【未達成事項】 -																
令和4年度目標 (計画・評価・課題を含め)		他の相談機関の情報を収集することで、町民の身近な相談所としての機能を強化するとともに、相談従事者の職制ごとの強みも含め、SNS等も活用し広く事業の周知を行う。また、あらゆる相談事に関する参考文献などの情報を収集することで、相談体制の強化を図る。																
事業概要				事業計画・スケジュール														
				項目			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
イ 民生児童委員、人権擁護委員、学識経験者、行政相談員が相談を受け助言する				心配ごと相談開催 (毎月第4木曜日)			▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	
ロ 相談体制、6人の相談員で13:00～16:00までの開催																		
ハ 周知の充実を図る (相談従事者の特性(職制ごとの強み)や、具体的な相談事例の紹介)				広報紙ホームページ等への掲載(町広報紙含む)			←										→	
ニ 他の相談機関についての情報収集と連携				相互の情報周知や適切な相談媒体への繋ぎ			←										→	
ホ 相談体制の強化を図る				相談事に関する書籍購入の検討・購入			←										→	

事業区分	サービス区分(A)の内容		予算増減記載欄												
			科目		増減の理由										
I. 社会福祉事業	地域を支えるボランティアの育成のために各種事業の実施をする		〈事業活動収入〉												
拠点区分															
1. 法人運営事業															
サービス区分 (A)	4年度予算【事業活動支出計(2)】	前年度比較増減													
(6) ボランティアセンター事業	651 千円	287 千円	〈事業活動支出〉												
サービス区分 (B)	〃 【 〃 】 ※予算書はサ区(A)まで	前年度比較増減	消耗器具備品費 (増)	ボランティアセンター用のパソコンを購入するため											
①ボランティア活動連絡調整事業	380 千円	200 千円													
第2次地域福祉活動計画(H29~34)への位置づけ	1-(2)-1 社協登録ボランティア(団体)との協働によるボランティアの育成 1-(3)-1 ・若年層やシニア層の活動参加の促進 ・ニーズの把握とコーディネート機能の強化 2-(3)-1 ・災害ボランティアやコーディネーターの育成 ・災害VC立ち上げのシミュレーション														
計画の進捗評価と課題(令和2年度事業報告及び令和3年度事業進捗状況より)	【達成事項】 ・社協登録ボランティア団体と情報交換会を実施し情報の共有を図った。 【未達成事項】 ・令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、ボランティア入門講座を中止 ・令和3年度はボランティア入門講座を実施し、ボランティアの育成及び若年層やシニア層の活動参加の促進を図った。 ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため災害ボランティアセンターの立ち上げシミュレーションができていない。														
令和4年度目標(計画・評価・課題を含め)	・各小中学校で福祉体験を取り入れてもらうため、社協登録ボランティア団体の提供できる体験をまとめ、教育委員会や各学校へ打診する。 ・ボランティアセンター用のパソコンが古くなっているため、新しく購入し、各団体が使いやすいよう体制整備を行う。														
事業概要			事業計画・スケジュール												
			項目	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
イ ボランティア活動の普及・啓発を行う															
○ボランティア入門講座を開催する			ボランティア入門講座の開催		▼	▼									
○ホームページで登録ボランティア団体の活動をPRする			ホームページに情報掲載(随時)	←											→
○小中学生向け福祉体験を推進する			小中学校の福祉体験への協力		▼	▼		▼	▼	▼					
○小中学校向け提供できる福祉体験の集約を行う。			ボランティア団体へ提供内容の確認	▼	▼										
○小中学生向け夏休み福祉体験学習を開催する。			福祉教育の推進				▼								
○町内ボランティア活動、ボランティアニーズに関する情報を収集する			効果的な活動に繋げるための情報収集												
町内社会福祉施設のボランティア受け入れ方法や問合せ先など情報収集を継続する				←											→

○町民活動サポートセンター等との情報連携の検討（継続）

情報共有及び町民への提供の調整



○ボランティア資源とニーズのマッチング方法や情報提供のあり方検討	効率的なコーディネートに向けた検討	←												→	▼
ロ 登録ボランティア団体等の支援を行う															
○情報交換会を開催する（4回）	情報交換会の開催				▼			▼			▼				▼
○ボランティア保険の活用を促す	広報紙、ホームページへの情報掲載	ホームページは常時掲載、広報紙は次年度受付開始の12月を予定													
ハ 災害ボランティアの育成・組織化を推進する															
○災害ボランティアセンター立上・運営マニュアルを作成する	災害VC立上・運営マニュアルの作成	←						▼		←					▼
	マニュアル内容の検証							▼							▼
ニ ボランティアセンターの利便性の向上を行う	見やすい掲示、配架の実施	←													→
○ボランティア関係の情報量を増やす	ボランティア情報の収集、掲示、配架														

二宮町社会福祉協議会 令和4年度事業計画書

事業区分		サービス区分(A)の内容		予算増減記載欄												
I. 社会福祉事業				科目		増減の理由										
拠点区分		地域を支えるボランティアの育成のために各種事業の実施をする		〈事業活動収入〉												
1. 法人運営事業																
サービス区分 (A)		4年度予算【事業活動支出計(2)】	前年度比較増減													
(6) ボランティアセンター事業		651千円	287千円	〈事業活動支出〉												
サービス区分 (B)		〃 【 〃 】 ※予算書はサ区(A)まで	前年度比較増減	ボランティア団体助成金支出(増)		申請金額増のため										
②ボランティアグループ助成事業		271千円	87千円													
第2次地域福祉活動計画(H29~34)への位置づけ		1-(3)-1 ボランティア活動及び育成の支援														
計画の進捗評価と課題(令和2年度事業報告及び令和3年度事業進捗状況より)		<p>【達成事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社協登録ボランティアグループへ、活動費を助成し活動の円滑化を図った。 <p>【未達成事項】</p> <p>—</p>														
令和4年度目標(計画・評価・課題を含め)		<ul style="list-style-type: none"> ・県や町等が実施している補助(支援)事業の情報を収集し、ボランティア団体の活動に合致する情報を提供する。 ・寄付金を活用した活動を広報紙等でPRする。 														
事業概要				事業計画・スケジュール												
				項目	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
イ 社協登録ボランティアグループへ活動費の助成を行う				ボランティア活動費助成	▼											
				活動費助成申請受付、ヒアリング						申請案内			締切		ヒアリング	
ロ 県・町等の補助(支援)事業の情報収集、活用提案を行う				助成金情報収集、活用提案										▼		
ハ 寄付金をどう活用しているか、ボランティア団体の活動をPRし、寄付金増を図る(「社協にのみや」に記事掲載)				寄付金活用内容のPR		▼			▼				▼			

二宮町社会福祉協議会 令和4年度事業計画書

事業区分		サービス区分(A)の内容		予算増減記載欄															
I. 社会福祉事業		地域住民が安心して生活できる地域づくりの一助となるべく活動を行う		科目				増減の理由											
拠点区分				〈事業活動収入〉															
1. 法人運営事業																			
サービス区分 (A)		4年度予算【事業活動支出計(2)】		前年度比較増減															
(7) 地域福祉活動推進事業		3,976千円		618千円		〈事業活動支出〉													
サービス区分 (B)		〃 【 〃 】 ※予算書はサ区(A)まで		前年度比較増減		助成金支出(増)				地区社協助成金増のため									
①地区社協部会運営事業		3,734千円		618千円															
第2次地域福祉活動計画(H29～34)への位置づけ	2-(1)-1	<ul style="list-style-type: none"> 住民意識の啓発による自助活動の促進 地域における資源整理、課題抽出の促進 地区社協のあり方の検証・検討 																	
	2-(2)-1	<ul style="list-style-type: none"> 地域の交流の場として「通いの場」の整備 通いの場の機能充実(町連携：生活支援・情報交流等) 																	
	3-(2)-1	<ul style="list-style-type: none"> 通いの場の有効活用(町連携：介護予防等) 高齢者の活躍の場づくり 																	
	4-(4)-1	<ul style="list-style-type: none"> 地区社協の相互連携及び情報共有 「オール地域」づくりの推進(町連携) 																	
計画の進捗評価と課題(令和2年度事業報告及び令和3年度事業進捗状況より)	【達成事項】		<ul style="list-style-type: none"> 通いの場の開催内容を広報紙およびホームページなどに掲載するとともに、チラシを各関係施設に配架した。 ボランティア入門講座で通いの場の活動内容を紹介した。 通いの場の機能充実を図り、様々なテーマの出前講座を開催支援(連絡調整など)した。(町連携) 通いの場の有効な活用方法を見出すため、新たな出前講座の実施を検討した。(町連携) 新たな取り組みとして、野外で実施する通いの場の支援を行った。 																
	【未達成事項】		<ul style="list-style-type: none"> 「オール地域」づくりの推進(町連携) 地区社協のあり方の検討 																
令和4年度目標(計画・評価・課題を含め)	<ul style="list-style-type: none"> 地域福祉活動推進のため、地区社協部会へ活動を支援する 地区社協のあり方を検討する。 地域の通いの場が広く周知されるよう広報活動を行う。 地域の通いの場のあり方や有効活用方法の検討。 																		
事業概要				事業計画・スケジュール															
				項目				4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
イ	地区社協部会活動費、地域の通いの場補助金の交付			補助金の交付				▼					▼						
ロ	地区社協部会連絡会議を開催する(年5回)			連絡会の開催				▼		▼		▼		▼				▼	
ハ	社協会員会費の戸別依頼を実施する			地区社協部会へ依頼						▼									

ニ	赤い羽根共同募金の戸別募金を実施する	地区社協部会へ依頼					▼														
ホ	地域における地区社協のあり方の検証（町連携）（継続）	各地区の活動状況を確認	←				▼													▼	→
		地域との関係性や役割、活動内容について検討	←				▼														→
へ	地域の通いの場の周知を図る	通いの場ガイドブックの作成（更新）	←																		→
		広報紙や掲示板、ホームページ、SNSなどを通じて周知	←																		→
ト	地域の通いの場実施内容の充実を図る	出前講座の講師を派遣（町、社協、包括など）	←																		→
		講師やゲストなどの情報提供	←																		→
		有効な活用方法の検討	←																		→
チ	地区間交流や連携の促進	意見交換を実施	▼				▼													▼	
リ	町内資源整理マップの充実（町連携）	生活支援コーディネーターとの連携による情報収集と周知	←																		→

二宮町社会福祉協議会 令和4年度事業計画書

事業区分		サービス区分(A)の内容		予算増減記載欄																
I. 社会福祉事業				科目				増減の理由												
拠点区分		地域住民が安心して生活できる地域づくりの一助となるべく活動を行う		〈事業活動収入〉																
1. 法人運営事業																				
サービス区分(A)		4年度予算【事業活動支出計(2)】		前年度比較増減																
(7) 地域福祉活動推進事業		3,976千円		618千円																
サービス区分(B)		〃【〃】※予算書はサ区(A)まで		前年度比較増減		〈事業活動支出〉														
②生活支援ネットワーク事業		242千円		0千円																
第2次地域福祉活動計画(H29~34)への位置づけ		1-(2)-1 コーディネーター及びサポーターの登録促進及びスキルアップ																		
		3-(1)-1 新たな移動支援のニーズ調査と実現可能性の検討																		
		4-(4)-2 ・地域包括ケアシステム(総合事業)において果たすべき役割やあり方の検討 ・他団体の類似事業との棲み分けと連携																		
計画の進捗評価と課題 (令和2年度事業報告及び令和3年度事業進捗状況より)		【達成事項】 ・ボランティア入門講座で活動内容の紹介およびサポーターの登録促進を行った。 ・安全安心まちづくり旬間(令和3年10月11日~20日)において、民生委員の協力により、ひとり暮らしの高齢者への周知を実施した。 ・社協の広報紙やホームページ、SNSおよび地域の通いの場などで活動内容について広く周知した。 ・町や関係団体と連携し、移動支援の実現可能性について検討した。																		
		【未達成事項】 ・類似事業実施団体との連携。																		
令和4年度目標 (計画・評価・課題を含め)		活動内容についてより一層の周知を図り、地域のたすけあい、ささえあい活動の活性化と、ボランティアの拡充を図る。また、地域のニーズに合わせた活動内容となるよう見直し検討を行うとともに、類似団体との連携やネットワークづくりを推進する。																		
事業概要				事業計画・スケジュール																
				項目				4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
イ 日常生活のちょっとした困りごとを解決するため地域と連携して生活支援を行う				支援の実施				←————→												
ロ 活動状況や課題、ニーズなどの情報共有・整理を行い、より良い活動となるよう内容の見直し検討をするとともに、連携の促進と円滑な運営を図る				運営委員およびコーディネーター合同会議の開催																
				意見交換会の開催				▼												
ハ 活動内容の周知を図る				広報紙や掲示板、ホームページ、SNSなどを通じて周知				←————→												
				ボランティア入門講座、地区社協部会連絡会、民児協、地域ケア会議、通いの場での広報活動				←————→												

	安全安心まちづくり旬間におけるPR活動							▼						
ニ	ボランティア（コーディネーター・サポーター）の拡充を図る	広報紙や掲示板、ホームページ、SNSなどへの掲示	←											→
ホ	スキルアップを図る	研修会の実施検討	←											→
ヘ	類似団体との棲み分けとネットワークづくり	情報交換会の開催を検討	←											→

二宮町社会福祉協議会 令和4年度事業計画書

事業区分		サービス区分(A)の内容		予算増減記載欄														
I. 社会福祉事業				科目				増減の理由										
拠点区分		年末たすけあい募金の配分について検討し実施する		(事業活動収入)														
1. 法人運営事業																		
サービス区分 (A)		4年度予算【事業活動支出計(2)】		前年度比較増減														
(8) 共同募金配分金事業		986千円		3千円														
サービス区分 (B)		〃 【 〃 】 ※予算書はサ区(A)まで		前年度比較増減		(事業活動支出)												
①年末たすけあい募金配分金事業		986千円		3千円														
第2次地域福祉活動計画(H29～34)への位置づけ		2-(1)-2 当事者団体の活動支援 3-(2)-1 地区社協の活動支援																
計画の進捗評価と課題(令和2年度事業報告及び令和3年度事業進捗状況より)		【達成事項】 ・要援護世帯、町内福祉施設、当事者団体、地域福祉推進団体、地域福祉事業へ配分を実施した。 【未達成事項】 -																
令和4年度目標(計画・評価・課題を含め)		より多くの対象者へ年末たすけあい募金の配分を実施できるよう、周知および配分方法を検討し、効果的な配分を図る。また、翌年度地域福祉事業費の有効な活用方法について検討する。他市町村の配分事例等を参考に配分方法について見直し、検討を行う。(継続)																
事業概要				事業計画・スケジュール														
				項目				4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
イ 児童扶養手当、身体障害者手帳1級・2級、療育手帳A1・A2、要介護認定5				広報紙や掲示板、ホームページ、SNSなどを通じて周知										▼				
精神障害者保健福祉手帳1級のいずれかに該当する在宅世帯へ配分を行う				要援護世帯への配分											▼			
				県共募へ実績を報告												▼		
ロ 年末たすけあい配分委員会を開催する				委員会の開催									▼					
ハ 前年度の募金より、福祉団体、11地区社協部会、地域の通いの場の活動費を助成する				助成金の申請受付および交付				←	→									
ニ 前年度の募金より社協事業費として配分を受ける				事業費の配分				▼										
ホ 配分方法の見直し・検討				他市町村事例を参考に検討				←										→

二宮町社会福祉協議会 令和4年度事業計画書

事業区分		サービス区分(A)の内容		予算増減記載欄												
I. 社会福祉事業		県社会福祉協議会からの受託事業として判断能力が十分でない高齢者、身体障がい者、知的障がい者、精神障がい者に対し、福祉サービス利用援助、日常的金銭管理サービスを行う		科目	増減の理由											
拠点区分				(事業活動収入)												
1. 法人運営事業																
サービス区分 (A)		4年度予算【事業活動支出計(2)】	前年度比較増減													
(9)福祉サービス利用援助事業(県社協受託)		40千円	△27千円	(事業活動支出)												
サービス区分 (B)		〃 【 〃 】 ※予算書はサ区(A)まで	前年度比較増減													
①日常生活自立支援事業		40千円	△27千円													
第2次地域福祉活動計画(H29~34)への位置づけ		4-(3)-1 ・高齢者や障がい者等の自立に向けた支援 ・専門員・生活支援員のスキルアップ														
計画の進捗評価と課題(令和2年度事業報告及び令和3年度事業進捗状況より)		【達成事項】 ・契約者の自立に向けた支援の実施。 ・社協にのみや等で事業の周知を実施。 ※契約締結審査会は県社協一括方式に変更。 【未達成事項】 -														
令和4年度目標(計画・評価・課題を含め)		研修の参加等、専門員・生活支援員のスキルアップを図りつつ、サービスや相談援助を行う。 適切なサービスの実施や担当者間での情報共有を図るため、局内カンファレンス定期化を目指す。 事業所向けのパンフレットを作成する。		人件費は事務局運営事業に計上												
事業概要				事業計画・スケジュール												
				項目	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	
イ	専門員による相談業務			随時	←											
ロ	生活支援員による契約者への支援を実施する			随時	←											
ハ	事業理解のためのPR活動を行う			社協にのみや及びホームページ、町広報紙等への掲載依頼(随時)	←											
				チラシの配架	←											
ニ	専門員、生活支援員の研修参加			県社協 研修会(随時参加)	←											
ホ	専門員、生活支援員の雇用			雇用契約	▼						▼					
ヘ	事業所向け(行政機関、病院、高齢者・障害者施設等)パンフレットの作成			事業所向けパンフレットの作成	←	→					▼					
ト	局内カンファレンスの定期開催の検討・実施			局内カンファレンス定期化の検討				←	→		▼					
チ	生活支援員の募集方法の検討			生活支援員募集方法の検討				←	→						→	



二宮町社会福祉協議会 令和4年度事業計画書

事業区分		サービス区分(A)の内容		予算増減記載欄																
I. 社会福祉事業		高齢者世帯の安否確認および緊急時に消防・救急の出動を要請できる機器の設置を行う		科目		増減の理由														
拠点区分				4年度予算【事業活動支出計(2)】		前年度比較増減		〈事業活動収入〉												
1. 法人運営事業						町補助金(増)		他社のシステムへの移行に伴う増額												
サービス区分(A)		4年度予算【事業活動支出計(2)】		前年度比較増減		〈事業活動支出〉														
(10) 緊急通報システム事業(町補助)		5,594千円		1,476千円																
サービス区分(B)		〃【〃】※予算書はサ区(A)まで		前年度比較増減		業務委託費(増)		他社のシステムへの移行に伴う増額												
①緊急通報システム事業		5,594千円		1,476千円																
第2次地域福祉活動計画(H29~34)への位置づけ		2-(3)-2 使いやすいシステムへの検討と継続的な周知																		
計画の進捗評価と課題(令和2年度事業報告及び令和3年度事業進捗状況より)		【達成事項】 ・安全安心まちづくり旬間(令和3年10月11日~20日)において、民生委員の協力により、ひとり暮らしの高齢者への周知を実施した。 ・社協の広報紙やホームページ、SNSおよび地域の通いの場などで事業内容について広く周知した。 ・町と共同で他社のシステムについて情報収集を行い、使いやすいシステムとなるよう検討を行った。											【未達成事項】 -							
令和4年度目標(計画・評価・課題を含め)		活動内容についてより一層の周知を図るとともに、使いやすいシステムとなるよう検討を行い、誰でも安心して暮らすことができるまちづくりを推進する。																		
事業概要				事業計画・スケジュール																
				項目			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
イ 設置申請および撤去依頼の受付並びに事業内容(システム)の説明を行う				設置申請および撤去依頼の受付並びに事業内容(システム)の説明			←											→		
ロ 委託業者との連絡調整を行う				必要時に連絡調整			←											→		
ハ 事業の周知を図る				ホームページおよびSNS、掲示板などを通じて周知			←											→		
				広報紙へ掲載							▼									
				民児協、地域ケア会議、通いの場での広報活動			←											→		
ニ 民生委員児童委員との連携				安全安心まちづくり旬間におけるPR活動									▼							
				利用者リストの提供									▼							
ホ 使いやすいシステムへの検討・検証				同業他社のサービスについて情報収集			←											→		

二宮町社会福祉協議会 令和4年度事業計画書

事業区分		サービス区分(A)の内容		予算増減記載欄													
I. 社会福祉事業		町からの受託事業として町の重要施策である子育て支援事業の一翼を担うべく適切にセンターを運営し、会員相互の幼児・児童の一時預りを実施する		科目				増減の理由									
拠点区分				〈事業活動収入〉													
1. 法人運営事業																	
サービス区分 (A)		4年度予算【事業活動支出計(2)】		前年度比較増減													
(11) ファミサポ・トセンター事業 (町受託)		4,006 千円		△ 125 千円		〈事業活動支出〉											
サービス区分 (B)		〃 【 〃 】 ※予算書はサ区(A)まで		前年度比較増減		消耗器具備品費 (減)				コロナ対策費用減見込みのため							
①ファミサポ・トセンター事業		4,006 千円		△ 125 千円													
第2次地域福祉活動計画(H29～34)への位置づけ		4-(3)-3 ・支援会員の養成と情報交流・スキルアップ ・子育て支援資源の調査とマップ化 ・制度の継続的な周知															
計画の進捗評価と課題 (令和2年度事業報告及び令和3年度事業進捗状況より)		【達成事項】 ・支援会員のフォローアップ研修や情報交換会を実施した。 ・社協にのみや、広報にのみや等で制度の周知を実施した。 ・まかせて会員養成講座実施方法の見直しを実施した。 【未達成事項】 ・子育て支援資源の調査とマップ化については未着手である。															
令和4年度目標 (計画・評価・課題を含め)		安全な制度運営のために、町とマニュアルやルールの検証を継続的に実施する。															
事業概要				事業計画・スケジュール													
				項目	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
イ 会員のコーディネートを行う (初回打ち合わせ等)		随時実施		←				→									
ロ まかせて会員養成講座を開催する (随時) ※周知宣伝含む		まかせて会員養成講座の開催 (随時)		←				→									
ハ フォローアップ研修会を開催する (年1回) ※周知宣伝含む		周知・募集⇒開催						←		→		▼					
ニ 会員交流会を開催する (年1回)		交流会開催						▼									
ホ ファミサポ通信を発行する (年2回)		作成・発行		▼								▼					
へ ケース情報交換会を開催する		交換会開催						▼						▼			
ト 専用ソフトを使用して会員情報の管理をする		情報管理		←				→									
チ 子育て支援資源の情報収集を行う		情報収集と必要に応じた提供		←				→									
リ ささまざまな手法による継続的な周知を実施する		町・社協広報誌及び関連団体定例会での周知		←				→									
ヌ 支援活動に合わせたリスクマネジメントを実施する		リスクマネジメント		←				→									
ル 新型コロナウイルス感染予防対策用を実施する		新型コロナウイルス対策		←													

二宮町社会福祉協議会 令和4年度事業計画書

事業区分		サービス区分(A)の内容		予算増減記載欄																
I. 社会福祉事業		県社会福祉協議会からの受託事業として低所得者、障がい者、高齢者または失業者に対し資金の貸し付けと必要な援助・指導を行う		科目		増減の理由														
拠点区分						〈事業活動収入〉														
1. 法人運営事業																				
サービス区分 (A)		4年度予算【事業活動支出計(2)】		前年度比較増減																
(12) 生活福祉資金貸付事業 (県社協受託)		125千円		△2千円		〈事業活動支出〉														
サービス区分 (B)		〃 【 〃 】 ※予算書はサ区(A)まで		前年度比較増減																
①生活福祉資金貸付事業		125千円		△2千円																
第2次地域福祉活動計画 (H29～34)への位置づけ		3-(3)-1 生活困窮者の自立に向け、関係機関と連携した総合的な相談の受付と貸付申請																		
計画の進捗評価と課題 (令和2年度事業報告及び令和3年度事業進捗状況より)		【達成事項】 ・県や県社協、町などの関係機関と連携し、相談の受付および支援を実施した。 【未達成事項】 -																		
令和4年度目標 (計画・評価・課題を含め)		県や県社協、町などの関係機関と連携し、生活困窮者の自立に向けた相談および貸付などの支援を行う。併せて、相談者の生活状況に応じてフードバンクなどを活用した支援を行う。また、フードバンクなどの支援体制の強化を図る。																		
事業概要				事業計画・スケジュール																
				項目	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3				
イ 対象者からの相談を受ける				相談受付 (随時)		← →														
ロ 貸付事務を行う				貸付 (随時)		← →														
ハ 借受人の状況を確認および返済指導を行う				借受世帯の状況確認 (民生委員へ協力依頼)		← →														
ニ 県社協委託金の動向把握を行う				委託金の動向把握		← →														
ホ フードバンクなどを活用し相談者へ支援を行う				相談者への支援 (随時)		← →														
ヘ フードバンクなどの支援体制の強化を図る				支援体制の検討および強化		← →														

二宮町社会福祉協議会 令和4年度事業計画書

事業区分	サービス区分(A)の内容		予算増減記載欄															
I. 社会福祉事業			科目	増減の理由														
拠点区分	町民の一時困窮に伴う出費に対し、5万円を貸付限度額とし資金の貸付による援護を行う		(事業活動収入)															
1. 法人運営事業			貸付事業収入 (増)	令和1・2年度貸付件数増により償還金増見込みのため														
サービス区分 (A)	4年度予算【事業活動支出計(2)】	前年度比較増減																
(13) 緊急援護資金貸付事業	1,200 千円	400 千円	(事業活動支出)															
サービス区分 (B)	// 【 // 】※予算書はサ区(A)まで	前年度比較増減	貸付事業支出 (増)	新型コロナウイルス感染症の影響による貸付件数増見込みのため														
①緊急援護資金貸付事業	1,200 千円	400 千円																
第2次地域福祉活動計画 (H29～34)への位置づけ	3-(3)-1 生活困窮者の自立に向け、関係機関と連携した総合的な相談の受付と貸付の実施																	
計画の進捗評価と課題 (令和2年度事業報告及び令和3年度事業進捗状況より)	【達成事項】 ・県や県社協、町などの関係機関と連携し、相談の受付および支援を実施した。 【未達成事項】 -																	
令和4年度目標 (計画・評価・課題を含め)	県や県社協、町などの関係機関と連携し、生活困窮者の自立に向けた相談および貸付などの支援を行う。併せて、相談者の生活状況に応じてフードバンクなどを活用した支援を行う。また、フードバンクなどの支援体制の強化を図る。																	
事業概要			事業計画・スケジュール															
			項目	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3			
イ	対象者からの相談を受ける		相談受付 (随時)	←														→
ロ	貸付事務を行う		貸付 (随時)	←														→
ハ	返還率の向上を図る		民生委員との情報連携		▼													
			督促状の送付															▼
ニ	貸付調査委員会を開催する (年1回)		貸付調査委員会の開催															▼
ホ	上位制度の優先活用を図る (県の生活福祉資金など)		上位制度および生活困窮者支援制度の情報収集と優先活用	←														→
ヘ	フードバンクなどを活用し相談者へ支援を行う		相談者への支援 (随時)	←														→
ト	フードバンクなどの支援体制の強化を図る		支援体制の検討および強化	←														→

二宮町社会福祉協議会 令和4年度事業計画書

事業区分		サービス区分(A)の内容		予算増減記載欄													
I. 社会福祉事業				科目				増減の理由									
拠点区分		本会の安定した事業資金を確保するために基金の積立を行う		〈事業活動収入〉													
1. 法人運営事業				受取利息配当金収入(減)				債権利息減少のため									
サービス区分(A)		4年度予算【事業活動支出計(2)】		前年度比較増減													
(14) 基金積立事業		0千円		0千円		〈事業活動支出〉											
サービス区分(B)		〃 【 〃 】※予算書はサ区(A)まで		前年度比較増減													
①社会福祉基金積立事業		0千円		0千円													
第2次地域福祉活動計画(H29~34)への位置づけ		5-(2)-1 安定した事業資金の確保に向けた適切な運用管理															
計画の進捗評価と課題 (令和2年度事業報告及び令和3年度事業進捗状況より)		【達成事項】 ・適切な運用管理に努めた。															
		【未達成事項】 -															
令和4年度目標 (計画・評価・課題を含め)		適正な運用をおこなう。 社会福祉基金関係の規程を整備する。															
事業概要				事業計画・スケジュール													
				項目													
				4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
イ		基金から生じる利息を地域福祉事業の財源に充てるとともに元本を取崩し開拓的		運用管理				←								→	
		事業、新規事業に充当する		県債等利息(利払い日)												▼	
ロ		社会福祉基金関係の規程を整備する		関係規程の整備				↔								▼	

二宮町社会福祉協議会 令和4年度事業計画書

事業区分		サービス区分(A)の内容		予算増減記載欄														
I. 社会福祉事業				科目				増減の理由										
拠点区分		篤志家による金品等の寄託を財源としてボランティアの育成支援をする		〈事業活動収入〉														
1. 法人運営事業																		
サービス区分 (A)		4年度予算【事業活動支出計(2)】		前年度比較増減														
(15) 善意銀行		0千円		0千円		〈事業活動支出〉												
サービス区分 (B)		〃 【 〃 】 ※予算書はサ区(A)まで		前年度比較増減														
①善意銀行		0千円		0千円														
第2次地域福祉活動計画(H29～34)への位置づけ		1-(3)-1 ・ボランティア活動の支援 ・支援結果のPR・周知 ・運営方法の見直し																
計画の進捗評価と課題 (令和2年度事業報告及び令和3年度事業進捗状況より)		【達成事項】 ・社協にのみやに用途等を掲載し事業のPRを図った。 【未達成事項】 -																
令和4年度目標 (計画・評価・課題を含め)		引き続き、寄付金品の用途について広報紙等でPRを続け、寄付金増を図る 寄付金品活用について検討する						他事業への繰出しのみのため事業活動支出はなし										
事業概要				事業計画・スケジュール														
				項目	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
イ		金品等の受託配分事務を行う		ボランティア団体へ配分				▼										
ロ		善意銀行運営委員会を開催する(年1回)															▼	
ハ		善意銀行の事業PRを実施する		広報紙に受託金品・寄託者を掲載					▼				▼					
				ホームページに受託金品の用途等を掲載						▼							▼	
ニ		寄付金品活用について検討する		寄付金品活用の検討				←									→	▼

二宮町社会福祉協議会 令和4年度事業計画書

事業区分		サービス区分(A)の内容		予算増減記載欄														
I. 社会福祉事業		町からの受託事業として、生活支援コーディネーターを中心に地域における生活支援体制の整備を推進する。		科目		増減の理由												
拠点区分				〈事業活動収入〉														
1. 法人運営事業																		
サービス区分 (A)		4年度予算【事業活動支出計(2)】		前年度比較増減														
(16) 生活支援体制整備事業 (町受託)		3,197 千円		219 千円														
サービス区分 (B)		〃 【 〃 】 ※予算書はサ区(A)まで		前年度比較増減														
①生活支援体制整備事業		3,197 千円		219 千円														
第2次地域福祉活動計画 (H29～34)への位置づけ		4-(4)-3 ・生活支援に関わる地域資源とニーズの洗い出し(町連携) ・資源とニーズのマッチングによる必要なサービスの確保と情報提供(町連携)		〈事業活動支出〉														
計画の進捗評価と課題 (令和3年度事業報告より)		【進捗評価】 ・地域の協議体より、新たな生活支援活動グループが立ち上がり、生活支援や移動支援・集いの場を開催している。 【課題】 ・地域の協議体の活動の方向性や認識の再確認。 ・地域アセスメント。																
令和4年度目標 (計画・評価・課題を含め)		今までの話し合いの中で「担い手不足」が課題となっていた為、令和4年度は「担い手」をテーマに第1層協議体・第2層協議体で話し合いを行い、新たな担い手発掘に向け講演会などを開催する。																
事業概要				事業計画・スケジュール														
				項目	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
イ 【町全域】お互いさま推進協議会の運営(町共同)		協議会開催(随時)			随時													
【小学校区】第2層協議体の運営(町共同)		協議会開催(随時)			随時													
①地域資源とニーズの整理		生活支援ファイルの充実・更新並びに周知																
		かなふくサイト掲載情報の充実・更新並びに周知																
		地域アセスメントの実施					調査内容の検討						アセスメントの実施					
○移動支援のニーズ調査(一色小地域再生協議会・移動支援検討部会)		情報共有																
②目指す地域の姿、方針の共有、意識の統一		第1・2層協議体や地域ケア会議へ参画し、方向性や情報を共有																
		2層協議体運営へ参画し、方向性や生活支援情報の授受及び共有																
○生活支援コーディネーターだより発行		第1・2層協議体や地域ケア会議・認知症カフェ・生活支援コーディネーターの周知					9号発行		10号発行			11号発行		12号発行				
③資源開発に必要な人材育成等の内容、手段の検討		資源団体や通いの場参加者への課題の確認																
		生活支援サービス提供主体へ実態などの情報を収集する																
		取りまとめと関係者間の情報共有																

④地縁組織をはじめとする多様な主体への協力依頼	①の取り組みを通じて、生活支援体制整備の必要性周知と参画依頼	←											→
⑤関係団体等のネットワーク化	地域のつながりや相関関係の確認及び整理	←											→
	ネットワーク図の作成と希薄分野へのアプローチ検討												→
⑥地域資源とニーズのマッチング	地域資源とニーズのマッチング	←											→
	①～④の実施と並行した総合的な地域課題やサービスの検証												→

二宮町社会福祉協議会 令和4年度事業計画書

事業区分	サービス区分(A)の内容		予算増減記載欄												
I. 社会福祉事業	高齢者が自らの意思にもとづき、自立した質の高い生活を送ることができるよう支援する		科目	増減の理由											
拠点区分			(事業活動支出)												
2. ヘルパーステーション事業			賃借料支出 (増)	ケアマネ業務支援システム変更によるタブレット、スマホのレンタルのため。											
サービス区分 (A)	4年度予算【事業活動支出計(2)】	前年度比較増減													
(1) 居宅介護支援事業	23,203千円	1,934千円	保守料支出 (減)	ケアマネ業務支援システム変更によるコスト低減のため。											
サービス区分 (B)	〃 【 〃 】 ※予算書はサ区(A)まで	前年度比較増減													
①居宅介護支援事業	23,203千円	1,934千円	固定資産取得支出 (増)	訪問用バイク買い替えのため(2台分)。											
第2次地域福祉活動計画(H29～R4)への位置づけ	4-(3)-1 ・利用者の自立に向けた居宅介護支援の実施 ・介護支援専門員のスキルアップ ・他事業所・他職種との連携による機能強化														
計画の進捗評価と課題(令和3年度事業報告及び令和4年度事業進捗状況より)	【達成事項】 ・新規介護支援業務支援システムへの移行を滞りなく行えた。 ・リモートを含めた研修・他事業所等との交流により、サービスの質の向上と体制強化、経営基盤の安定に繋げることができた。 【未達成事項】 -														
令和4年度目標(計画・評価・課題を含め)	・サービスの質の維持しながら、人材の育成、スキルアップ、業務の効率化に努め、経営の安定化を図る。 ・ズームなどを活用し、他事業所との検討会等の機会を多くもち、地域とのつながりの強化を心がける。 ・災害や感染症への備えを整え、業務継続計画(BCP)の策定を進める。														
事業概要			事業計画・スケジュール												
			項目	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	
イ	介護認定を受けた高齢者に対してケアプランの作成を含めた居宅介護支援を行う		随時対応	←											
ロ	住宅改修の理由書を作成する		随時対応	←											
ハ	市町村の委託を受け要介護認定調査を実施する		随時対応	←											
ニ	町介護認定審査会への参加		認定審査(月1～2回)	←											
ホ	介護支援専門員のスキルアップ		ケース検討・情報共有(週1回)	←											
			他事業所との合同ケース検討会議(月1回)	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	
			各種研修会及び湘南ウエストへの参加(随時)	←											



二宮町社会福祉協議会 令和4年度事業計画書

事業区分	サービス区分(A)の内容		予算増減記載欄												
			科目	増減の理由											
I. 社会福祉事業	自立した日常生活を営むことができるようにホームヘルパーを派遣する		〈事業活動収入〉												
拠点区分			〈事業活動支出〉												
2. ヘルパーステーション事業			介護保険事業収入(増)	居宅介護の件数増加が見込めるため。											
サービス区分(A)	4年度予算【事業活動支出計(2)】	前年度比較増減													
(2) 訪問介護事業	20,808千円	3,932千円	〈事業活動支出〉												
サービス区分(B)	〃【〃】※予算書はサ区(A)まで	前年度比較増減	人件費支出(増)	訪問件数増見込み及び前年度予算計上ミスのため											
①訪問介護事業	20,808千円		3,932千円												
第2次地域福祉活動計画(H29~34)への位置づけ	4-(3)-1	・サービス提供責任者及びヘルパーのスキルアップ ・町民を対象とした介護講座の実施 ・他事業所・他職種との連携による機能強化	介護用品費支出(増)	感染症の拡大に伴い、衛生消耗品の消費増加があるため。											
	4-(3)-3	・母子家庭等へのホームヘルパー派遣による子育て支援	賃借料支出(増)	システム変更及新規に車両リース開始のため											
計画の進捗評価と課題(令和2年度事業報告及び令和3年度事業進捗状況より)	【達成事項】 ・登録ヘルパーを対象に月1回の研修会を実施し、スキルアップを図った。新型コロナウイルス感染拡大を受けて、オンライン研修を取り入れることで職員への感染予防にも配慮した。 ・常勤のサービス提供責任者を2名に増員したことで、利用者増につながった。														
	【未達成事項】 ・職員の定着と職員の増員への取り組み。 ・コロナ感染拡大の影響を受け、介護講座の実施を見送った。														
令和4年度目標(計画・評価・課題を含め)	・ヘルパーへの研修等によるスキルアップと登録ヘルパー増員による人員の確保。 ・町民への広報活動や他事業所との連携により、認知度を高める。														
事業概要			事業計画・スケジュール												
			項目	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
イ	要介護状態にある高齢者に対し、訪問介護を提供する		ヘルパーの派遣	←											→
ロ	要支援状態にある高齢者に対し、予防訪問介護を提供する		ヘルパーの派遣	←											→
ハ	障がいの種類にかかわらず、支援の必要度合いに応じて訪問介護を提供する		ヘルパーの派遣	←											→
ニ	視覚障がい者の援助のためガイドヘルパーを派遣する(付き添い、代筆・代読等)		ヘルパーの派遣	←											→
ホ	母子家庭等の援助のためホームヘルパーを派遣する(町受託事業)		随時対応												
へ	研修を充実し、ヘルパーの質を向上する(月1回)		定例会開催(月1回)及び湘南ウエスト参加(年2回)	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼
ト	新規利用者を増やすため他事業所・ケアマネジャーとの信頼関係を強化する		毎月の社内研修など、スキルアップ活動の状況を宣伝周知する	←											→
チ	ホームページ等を活用し、ヘルパー増員を図る		随時対応(効果的な広報検討)												
リ	非常勤ヘルパーの健康を管理する為に健康診断を実施する		健康診断の実施		▼										
ヌ	サービス提供責任者及びヘルパーのスキルアップ		各種研修会への参加(随時)	←											→

二宮町社会福祉協議会 令和4年度事業計画書

事業区分	サービス区分(A)の内容		予算増減記載欄												
I. 社会福祉事業	自立した日常生活を営むことができるようにホームヘルパーを派遣する		科目	増減の理由											
拠点区分			〈事業活動収入〉												
2. ヘルパーステーション事業															
サービス区分 (A)	4年度予算【事業活動支出計(2)】	前年度比較増減													
(2) 訪問介護事業	20,808 千円	3,932 千円	〈事業活動支出〉												
サービス区分 (B)	〃 【 〃 】 ※予算書はサ区(A)まで	前年度比較増減													
②訪問介護自主事業	0 千円	0 千円													
第2次地域福祉活動計画(H29～34)への位置づけ	4-(3)-1 ・地域ニーズに沿った新規サービスの検討 ・利用しやすい料金の検討														
計画の進捗評価と課題 (令和2年度事業報告及び令和3年度事業進捗状況より)	【達成事項】 ・利用しやすいサービス料により、利用者件数は維持できている。 【未達成事項】 ・地域ニーズに沿った新規のサービスの検討。														
令和4年度目標 (計画・評価・課題を含め)	サービス内容や料金を検討するとともに、必要な方がサービスを利用できるよう周知する。		他事業への繰出しのみのため事業活動支出はなし												
			事業計画・スケジュール												
			項目	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
イ	要介護認定者等に対し公的サービスで対応できない訪問介護自主サービスを提供	ヘルパーの派遣	←												→
ロ	制度改正に応じたサービス内容の検討	総合事業における自主サービスのあり方検討	←												→
ハ	料金の検討	他の事業所との比較検討											▼		
ニ	制度の周知	様々な機会や媒体を通じた周知	←												→

二宮町社会福祉協議会 令和4年度事業計画書

事業区分	サービス区分(A)の内容		予算増減記載欄												
			科目	増減の理由											
I. 社会福祉事業	通所している障がい者の日々の生活の向上を目指すため就労を通じて教育指導を行う		〈事業活動収入〉												
3. 障害福祉サービス事業			サービス区分 (A)	4年度予算【事業活動支出計(2)】	前年度比較増減										
(1) 就労継続支援事業		28,214 千円	△ 1,324 千円	〈事業活動支出〉											
	サービス区分 (B)	〃 【 〃 】 ※予算書はサ区(A)まで	前年度比較増減	人件費支出 (減)	雇用・給与形態の変更による増 (処遇改善加算増額)										
①就労継続支援事業		28,214 千円	△ 1,324 千円		1名退職により全体としては減										
第2次地域福祉活動計画(H29~34)への位置づけ	4-(3)-2 ・支援事業の実施 ・関係機関と連携した周知と事業理解の促進														
計画の進捗評価と課題 (令和2年度事業報告及び令和3年度事業進捗状況より)	【達成事項】 ・昨年度申請し配分決定していた共同基金の社協整備費により車両更新を行った。 ・支援事業充実のため職業指導員および運転手を1名増員した。 【未達成事項】 ・利用者の工賃向上が十分果たされていない。 ・職員のスキルアップのための研修等の機会が不十分。														
令和4年度目標 (計画・評価・課題を含め)	・利用率を高め、安定的な運営の維持に努める。														
事業概要			事業計画・スケジュール												
			項目	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
イ 事業所の管理運営を行う															
○ボランティアの募集・育成				←											→
○運営委員会の事務						▼									
○職員打ち合わせの開催 (月1回)				▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼
○土曜カンナ (土曜日の営業) の実施				▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼
○「カンナだより」の作成・配布 (月1回)				▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼
○事業活動のために使用している車輛の整備							▼						▼		▼
○特別支援学校と協力して生徒の進路について支援する						▼				▼				▼	
○福祉体験学習・見学の受け入れ							▼								
○共同基金活動への協力										▼					

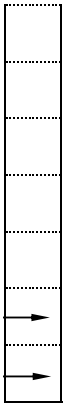
二宮町社会福祉協議会 令和4年度事業計画書

事業区分		サービス区分(A)の内容		予算増減記載欄														
I. 社会福祉事業				科目				増減の理由										
拠点区分		障がい者の抱える課題の解決や適切な公的サービス利用を支援する。		〈事業活動収入〉														
3. 障害福祉サービス事業																		
サービス区分 (A)		4年度予算【事業活動支出計(2)】		前年度比較増減														
(2) 指定特定相談支援事業		8千円		8千円		〈事業活動支出〉												
サービス区分 (B)		〃 【 〃 】 ※予算書はサ区(A)まで		前年度比較増減														
①指定特定相談支援事業		8千円		8千円														
第2次地域福祉活動計画(H29～34)への位置づけ		4-(1)-2 ・相談支援の実施 ・相談支援専門員のスキルアップ																
計画の進捗評価と課題 (令和2年度事業報告及び令和3年度事業進捗状況より)		【達成事項】 ・相談支援専門員現任研修修了 【未達成事項】																
令和4年度目標 (計画・評価・課題を含め)		計画相談支援に対応しつつ、相談支援専門員の研修会等に参加しスキルアップを図る。																
事業概要				事業計画・スケジュール														
				項目														
				4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3			
イ 計画相談支援の実施																		
○サービス等利用計画の作成				相談があり次第随時 ← →														
○支給決定後のサービス等利用計画の見直し(モニタリング:6ヶ月後、1年後)				運営委員会開催 ← →														
○計画相談支援支援給付費の請求				← →														
○研修会への参加(スキルアップ)				← →														

二宮町社会福祉協議会 令和4年度事業計画書

事業区分		サービス区分(A)の内容		予算増減記載欄													
II. 公益事業				科目		増減の理由											
拠点区分		障がい者の就労及び就労支援の場として、喫茶店を経営する															
1. ともしびショップ運営事業																	
サービス区分 (A)		4年度予算【事業活動支出計(2)】		前年度比較増減													
(1) ともしびショップ運営事業		8,097千円		△ 899千円													
サービス区分 (B)		〃 【 〃 】 ※予算書はサ区(A)まで		前年度比較増減													
①ともしびショップ運営事業		8,097千円		△ 899千円													
第2次地域福祉活動計画(H29~34)への位置づけ		3-(2)-2 障がい者の就労や自立に向けた支援に加え、高齢者や生活困窮者等、地域で日常生活に困難を抱える人の社会参加の場づくりの検討 3-(3)-1 ※同上(再掲)															
計画の進捗評価と課題(令和2年度事業報告及び令和3年度事業進捗状況より)		【達成事項】 ・ともしびショップは障がい者就労支援のため、また障がい者の居場所として一定の成果を上げている。 【未達成事項】 ・日常生活に困難を抱える人の社会参加の場づくりの検討を行う。															
令和4年度目標(計画・評価・課題を含め)		・障がい者スタッフがより働きやすい環境づくりを進める。 ・就労支援作業所等の製品の仕入れ販売を行い、障がい者関係事業所の販路確保や障害福祉のPRを担う。															
事業概要				事業計画・スケジュール													
				項目		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	
イ		障がい者スタッフの教育指導を実施する		個別支援計画及び就労支援指導項目リスト等に基づく指導		←											
ロ		障がい者スタッフの定期的な就労判定を実施する(半期に1度)		指導項目リストに基づく採点⇒運営委員会における就労判定							▼	↘					
ハ		ともしびショップ「なのはな」運営委員会を開催する(年3回)		運営委員会開催						▼		▼					
ニ		「ともしびショップ」の理念・活動等を周知する		広報紙掲載			▼			▼				▼			
ホ		喫茶店経営の安定化を目指す		通常営業		←											
				雇用契約		▼						▼					
				売り上げ目標額の設定と時点確認		設定						確認					
				新規メニューの考案、広報活動		←											





二宮町社会福祉協議会 令和4年度事業計画書

事業区分		サービス区分(A)の内容		予算増減記載欄														
II. 公益事業		町からの受託事業として適切にセンターの運営を行う		科目			増減の理由											
拠点区分				〈事業活動収入〉			介護保険事業収入の増加											
2. 地域包括支援センター事業																		
サービス区分(A)		令和4年度予算【事業活動支出計(2)】	前年度比較増減															
(1) 地域包括支援センター事業		41,129 千円	1,073 千円															
サービス区分(B)		〃 【 〃 】 ※予算書はサ区(A)まで	前年度比較増減															
①地域包括支援センター事業(町受託)		38,434 千円	974 千円															
第2次地域福祉活動計画(H29~34)への位置づけ		4-(4)-3 ・地域包括ケアシステムの中核組織としてのネットワーク強化 ・総合相談窓口としての機能強化 ・町民への総合相談の周知や介護予防等の情報提供 ・認知症施策や多職種連携等、町との連携による各種施策の推進		〈事業活動支出〉			業務委託費支出の増加											
計画の進捗評価と課題(令和3年度事業報告より)		評価: ・地域ケア会議はオンラインなどの活用し毎月開催できた。 ・町民向け講座は感染対策を行い年2回開催できた。 課題: ・地域包括支援センターの啓発。																
令和4年度目標(計画・評価・課題を含め)		地域課題や町の目標を共有しながら関係団体と相互に連携した効果的な取組につながるよう、町との連携強化を図り、地域包括支援センター全体の資質向上、機能強化を図っていく。また、地域ケア会議においては、地域課題の明確化を図り、地域づくりや政策形成に向けての働きかけを行っていく。																
事業概要				事業計画・スケジュール														
				項目			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
イ 包括的・継続的ケアマネジメント																		
○関係機関、福祉関係機関以外とのネットワークの強化				顔の見える関係作り			←											→
○湘南ウエスト大磯二宮介護保険事業者連絡会の運営				大磯包括と共に事務局運営					総会 ▼				総会 ▼					総会 ▼
○介護保険事業所への後方支援の充実				後方支援の実施			▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼

○地域ケア会議の開催（月1回、9月・2月は夜間に開催）	会議開催、会議運営方法の検証	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼
→地域ケア会議について、地域ケア会議が発揮すべき機能、構成員、スケジュールを盛り込んだ開催計画を策定し町へ報告する	町へ提出	▼												
→地域ケア会議において多職種と連携して、自立支援・重度化防止等に資する観点から個別事例の検討を行い、対応策を講じる（課題の明確化、長期・短期目標、優先順位、支援や対応及び支援者や対応者の確認、モニタリング方法）	随時	←												→
→地域ケア会議で検討した個別事例について、その後の変化等をモニタリングするルールや仕組みを構築し、かつ実効する	個別事例の検討方法の構築	←												→
→複数の個別事例から地域課題を明らかにし、これを解決するための政策を町へ報告する	町へ提出													▼
→地域ケア会議の議事録や決定事項を構成員全員が共有するための仕組みを講じる（随時）	議事録の作成・報告	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼
○地域の通いの場への参画（出前講座の開催）	町地域支援事業 （一般介護予防事業）	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼
○介護支援専門員・介護職員へのスキルアップ研修の実施（湘南ウエストとの共催）	ケアマネスキルアップ	←											▼	▼
	ヘルパースキルアップ	←											▼	▼
○在宅医療・介護連携推進事業への参画（会議への出席）	町地域支援事業 （在宅医療・介護の連携推進）	←												→
○在宅医療・介護連携に関する相談拠点との連携	医療介護医療センターとの意見交換 （随時）	←												→
ロ 総合相談														
○訪問・来所・電話など、様々な相談に対するワンストップサービスの実施	安心して相談できる中核的機関の構築	←												→
○緊急時でも対応できる相談体制の整備	携帯電話の導入によるオンコール体制の整備													
○職員の資質向上のため、内部勉強会（月1回） 外部研修（随時）への参加	センター職員のスキルアップ	←												→
○総合相談機能の強化に向けた取り組みの実施	横断的情報交換会の定期開催 町（高齢福祉班）・事務局・地域包括・SC・認知症地域支援推進員	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼
→地域支援センターが受けた介護サービスに関する相談について、保険者に対して報告や協議を受ける仕組みを設ける	月次報告書の提出													
ハ 権利擁護														
○高齢者の権利（成年後見・権利擁護・消費者被害の未然防止）、高齢者虐待に対する支援の実施	町担当との連携し実施	←												→

ニ	介護予防ケアマネジメント																	
	○第1号介護予防支援・指定介護予防支援の実施	ケアマネジメントの実施	←															
ホ	認知症初期集中支援チームへの参画																	
	○チーム員会議への出席	町地域支援事業 (認知症総合支援事業)		▼			▼						▼					
	○ケース対応の実施	町地域支援事業 (認知症総合支援事業)	←															
へ	お互いさま推進協議会（協議体）への参画																	
	○お互いさま推進協議会・地域の協議体への出席	町地域支援事業 (生活支援体制整備事業)		▼			▼						▼					
ト	その他																	
	○社会福祉士・相談援助実習生の受け入れ	社会福祉士養成校の学生受け入れ					▼	▼										
	○町民を対象とした、介護・権利擁護などの教室の開催	講座の開催	←			内容の検証	→			▼	←			内容の検証	→			▼

二宮町社会福祉協議会 令和4年度事業計画書

事業区分	サービス区分(A)の内容		予算増減記載欄																
II. 公益事業	町からの受託事業として、認知症地域支援推進員を中心に、地域における認知症対応力の強化や、支援体制の構築を図る。		科目	増減の理由															
拠点区分																			
2. 地域包括支援センター事業																			
サービス区分 (A)	令和3年度予算【事業活動支出計(2)】	前年度比較増減																	
(1) 地域包括支援センター事業	41,129 千円	1,073 千円																	
サービス区分 (B)	〃 【 〃 】 ※予算書はサ区(A)まで	前年度比較増減																	
②認知症地域支援・ケア向上事業 (町受託)	2,695 千円	99 千円	〈事業活動収入〉																
第2次地域福祉活動計画 (H29～34) への位置づけ	—		〈事業活動支出〉																
計画の進捗評価と課題 (令和3年度事業報告より)	<p>評価:</p> <ul style="list-style-type: none"> 認知症ケアパスやあんしんガイドブックの更新、認知症地域支援推進員案内リーフレットを作成し、町内の認知症ケアについて町民にわかりやすく周知できるようにした。 地域ケア会議により介護職員の認知症対応力向上を図った。 ののにんカフェや介護者の会を定期開催し、認知症の人や介護者が相談しやすい体制づくりをすすめた。 通いの場の出前講座や中学校、二宮町職員向けサポーター養成講座を開催し、住民のみならず役場職員に対しても、認知症に対するより深い理解促進をすすめた。 認知症サポーターのつどいを開催し、サポーター修了者の活躍の場を検討した <p>課題:</p> <ul style="list-style-type: none"> 介護事業所によるののにんカフェ（認知症カフェ）開催に向けた後方支援 																		
令和4年度目標 (計画・評価・課題を含め)	介護保険事業所に限らずさまざまな機関での認知症サポーター養成講座を開催し、より一層の認知症の普及啓発を行う。認知症の人本人にも参加するチームオレンジの形成を図る。認知症初期での診断を受けてから介護保険サービスにつながるまでの本人、家族への支援を重点的に行う。																		
事業概要			事業計画・スケジュール																
			項目	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3				
イ	医療・介護等の支援ネットワークの構築																		
	①認知症ケアパスの更新	更新・配布	←	更新	→						配布、HP等へ公開								
	②容態に応じた医療・介護等サービス機関の連携体制構築	処遇に対する助言	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼			
ロ	認知症対応力向上のための支援																		
	①専門職員による処遇検討会の開催支援	事例検討会の開催検討	←			地域ケア会議や事業所連絡会と連携し開催検討										→			
	②介護事業所職員による家族等介護者への介護方法等の助言	講座等の開催検討	←			地域ケア会議や事業所連絡会と連携し開催検討										→			
	③認知症に係る多職種を対象にした研修会等の開催	研修会の開催検討	←			地域ケア会議や事業所連絡会と連携し開催検討										→			
ハ	相談支援の実施・支援体制の構築																		
	①認知症の人や家族等の相談支援	相談支援・定期的な家族の会開催	←													→			

②認知症初期集中支援チームとの連携	随時連携	←																→	
③住民の理解促進	通いの場での講座・アルツハイマーイベント開催など	←																	→
④認知症サポーターの普及・啓発 (役場・中学校でのサポーター養成講座開催・養成講座を受けた店舗へ啓発シールの配布)	店舗・事業所への啓発	←																	→
→認知症サポーターフォローアップ研修など認知症支援に関する介護保険外サービスの整備を行い、チームオレンジ形成を図る	取組内容の検討と実施	←																	→
⑤認知症カフェの開催支援	随時支援	←																	→

事業の啓発

有志募集

随時開催